

末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入に関わる 特定行為看護師の役割と活動紹介

* 特定行為看護師の役割 *

特定行為とは何ですか？

→ 特定行為とは診療の補助の一つです。厚生労働省が定めた研修を修了した看護師が、医師の指示のもと手順書を作成し、その手順書を用いて医師の判断を待たずにタイムリーに医療行為を実施することをいいます。

* 手順書とは、特定行為の対象となる患者さんの病状の範囲や処置内容についての指示が記載されたものです。

末梢留置型中心静脈注射用カテーテル（以下、^{ピック}PICC）の特定行為とは何をするの？

→ 身体所見（長期の点滴が必要だが末梢の細い静脈では実施が難しい状態など）と、検査結果等が医師から指示された病状の範囲にある場合に、超音波検査で血管を確認しながらPICCを挿入しています。

^{ピック}PICCとは何ですか？

→ 二の腕の血管から挿入する中心静脈カテーテル（カテーテルの先端が心臓に近い太い血管に位置しています）です。他の中心静脈カテーテルと比べて比較的簡単に挿入でき、感染症の危険も少ないのが特徴です。点滴や採血でも使用でき、挿入後は治療終了まで差し替える必要がないことがないため、頻回な採血による穿刺の苦痛がないこともメリットです。

図：株式会社メディコン
パンフレットより借用



* 院内での主な活動 *

- 事前診察を行い、PICCを挿入します。
- PICC挿入前にパンフレットを用いてオリエンテーションを行っています。初めての処置に不安を強く感じる方もいらっしゃいますので、時間をかけて不安や疑問に一つ一つ丁寧に説明させていただきます。
- PICCを挿入後は、週に1回病室を訪問し、管理状況の確認や、気になることや生活上の注意点について相談や説明を行っています。必要時、ご家族へも説明を行っています。
- 看護師に対しての知識や管理技術に関するアドバイスをしています。

PICCを挿入した患者さんが安心して安全に治療を行えるようサポートさせていただきます。

庄司 理恵（2020年3月 特定行為研修 修了）